

言葉が開き、空間が語る世界 —スペイン語圏から京都へ、響き合う4つの旅—

第1回 川上ミネ 特別講演

音を拾いに、世界へ。 ～鍵盤は、地球をめぐる線路 スペイン語は、出会いの扉を開く鍵～

音とは、時空を超えて「祈り」を運ぶ乗り物。言葉を超越して、心に直接届く調べを探して——「地球は美しく尊い音であふれている」心が求める音を探し、世界を旅してきた、ピアニスト川上ミネ氏。戦乱の歴史を持つ欧州や南米に対し、日本ほど人の祈りによって「古い音」が途切れず伝承されている国はないと彼女は語ります。いにしへの記憶が染み込んだ音や言葉は、時空を超えて人々の願いを運ぶ「乗り物」となり、言葉を超越して私たちの心を直接癒やしてくれます。NHKラジオ『川上ミネの音狩りの旅』ともリンクする本講座。世界中で拾い集められた音の記憶に耳を傾ける、特別な講座です。

日時 10/9(金) 17:00～19:00

会場 以学館IG102 + ZOOMウェビナー

参加方法

会場参加の方は、登録不要です。当日会場までお越しください。オンラインでご参加の方は、事前登録をお願いします。講座前日に参加URLをご登録いただいたメールアドレスにご案内します。

事前登録↓



<https://x.gd/MGkKd>

Schedule

第2回 10/16 (金)「ことばの現在地とアイデンティティ —スペイン語・ガリシア語・カタルーニャ語のダイナミズムと日本—」

第3回 10/23 (金)「移動する人々と育まれる言葉と文化 —日本におけるスペイン語教育とスペインにおける日本語教育—」

第4回 10/30 (金)「スペイン語圏の建築と風景、そして私の仕事」

会場：立命館大学 平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム + ZOOMウェビナー



川上ミネ (ピアニスト・作曲家)

愛知県長久手市生まれ。3歳でピアノを始め、愛知県立明和高等学校音楽科、ミュンヘン国立音楽大学ピアノ科、マドリッド国立音楽大学院ピアノ科を卒業。現在はスペインの巡礼地サンティアゴ・デ・コンポステーラと、京都の二拠点に居住し、国内外で精力的に活動を展開している。直近では2026年6月にコロンビアのヘリコ国際音楽祭に出演。本講座直後の10月24日には春日大社での奉納リサイタルを控える。

主な音楽作品・活動

- ・「アニメ・モリゾーとキッコロ」(愛知万博2005年 NHK)
- ・「猫のしっぽ カエルの手 ～京都大原 ベニシアの手作り暮らし」(NHK 2009～2014年)
- ・スカイマーク機内オンエア テーマ曲『スカイブルー』
- ・NHKラジオ第1『夕刊ゴジらじ!』内コーナー「川上ミネの音狩りの旅」(2026年4月から放送中)
- ・NHK Eテレ『しあわせ気分のスペイン語』に楽曲を提供すると共に月に1回出演。
- ・オリジナルアルバム『Santiago de Compostela』『NAGAKUTE』ほか多数